

D 日本史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて黒鉛筆または黒のシャープペンシルで記入することになっています。黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ・Ⅱとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のように黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文1～7を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 人の活動が盛んになればそこには道ができ、国のいとなみは陸路や水路によって支えられる。

「改新の詔」は、「初めて京師を修め、(イ)・国司・郡司・関塞・斥候・防人・駅馬・伝馬を置き、及び鈴契を造り、山河を定めよ」と道路の運用システムを示した。この後、日本は全国が(イ)と七道とに行政区分され、地方組織が整備された。斉明天皇が朝鮮半島に派遣した軍が唐と新羅の連合軍に大敗すると、軍事拠点や通信施設などの防衛システムが整備された。その後、律令体制の成立とともに、¹⁾都を中心に七道の諸国府へとつながる官道(駅路)と駅馬が整備されて公用の移動・通信に供され、地方では駅路と離れて郡家などを結ぶ伝路が張りめぐらされた。1019年に女真人が九州北部を襲った刀伊の入寇の際には、駅制を使い京都への通報がおこなわれている。

一方、²⁾遣唐使は都から瀬戸内海を通過して唐へ渡り、日本海を季節風と海流にのって来航した(ロ)からの使節は、松原客院や能登客院などの迎賓施設でもてなされて都をめざした。

2. 律令体制が行きづまり荘園制度による私的所有が発達すると駅路は衰退し、在地勢力を始めとする新たな権力の関わる道路が現れる。白河上皇以降の上皇たちは仏教を厚く信仰し、壮麗な大寺院の建立や盛大な法会をおこなうとともに、高野詣や(ハ)と呼ばれる参詣をくり返した。(ハ)のために使われ続けた道は、2004年に世界文化遺産に登録された。

白河関のさらに北である「道の奥」(みちのく)の支配権を約100年にわたって握った奥州藤原氏は、金や馬、和紙、漆などを産して京都の文化とつながり「仏教王国」を目指すとともに、日本海側や蝦夷ヶ島など北方とも交流した。

3. 武士政権が拠点を置いた鎌倉では、大内裏から南に朱雀大路がのびる京都を参考に、鶴岡八幡宮を起点に由比ヶ浜までのびる直線の(ニ)が建設され、房総半島につながる外港の六浦津へ出る朝比奈切通が開削され、物資搬入のため遠浅の鎌倉の海に人工の(ホ)島が築かれた。鎌倉幕府は、「いざ鎌倉」の時に御家人たちが駆けつけるための軍用道路を整備させたが、³⁾後に御家人の新田義貞が鎌倉を攻略し、幕府を滅ぼすのもこの道を利用してのことであった。朝廷のある京都と将軍のいる鎌倉を結ぶ東海道では、幕府が沿道出身の御家人に伝馬と糧食を負担させて駅制を維持し、承久の乱など

の緊急時には早馬を使った。鎌倉と京との往来が盛んになると、この道の旅をしるした紀行文も書かれた。⁴⁾

4. 室町時代に貨幣経済が発達し地方の産業が盛んになると、遠隔地との取引も活発化し水陸の運送も盛んになった。⁵⁾特に年貢などの物資を、瀬戸内海や琵琶湖を使って西海・北陸から京都・奈良に運ぶ陸路と水路との結節点には、馬や車などに荷物を積んで運ぶ運輸業者が集まり、彼らを使う道路も整備された。その後、戦国大名たちは、城下町の建設などをおこなうとともに、領国内の宿駅や伝馬などの制度を整え道路を整備し、市場の開設・振興をはかった。活発な宗教活動や経済活動の結果、寺内町や港町などの多様な都市が成立した。⁶⁾

関所の撤廃や道路整備などを進めた織田信長を継いだ豊臣秀吉もまた、島津氏征伐にあたって毛利氏に山陽道から九州に至る長距離道路の整備を命じ、北条氏征伐の後にも小田原から会津に至る道路の整備をおこなわせた。

5. 秀吉の道路政策を引き継いだ徳川幕府は、江戸を起点とする五街道を直轄し、それに次ぐ脇街道（脇往還）も整備するなど陸上交通システムを整えた。幕府・大名らの移動や物資輸送、庶民の寺社詣などにより各地の宿駅は盛んになり、幕府は公用の書状や荷物を届けるために（へ）の制度を整えた。（へ）とは別に、大名が設置したものや町人が経営したものもあった。大量の物資を安価に運ぶのに陸路より適している海・河川・湖沼による水上交通⁸⁾も、盛んに使われた。新たな海運によって通商経済が発達すると、金融や流通の要衝となり、幕末から明治にかけて政治・経済における重要な役割を果たすようになった港⁹⁾もあった。

6. 明治政府は、鉄道と舗装された幹線道路の整備に力を入れた。なかでも有名なのは、「土木県令」「鬼県令」の異名をとった（ト）である。山形県令、福島県令、栃木県令などとして（ト）が進めた強引な手法は農民の抵抗を生み、自由民権運動と対立¹⁰⁾した。1884年には、（ト）ら政府高官暗殺計画から加波山事件がおこった。

関東大震災以降、自動車の保有台数が増加し、ドイツのアウトバーンに刺激を受けた自動車道路計画があったが、戦争の激化とともに立ち消えになった。満洲（州）においても、例えば新幹線のモデルとなる特急あじあ号などが運行されるとともに、大連・ハルビン間に高速道路を作る計画が進められた。

7. 戦後当初、アメリカの援助により道路改良がおこなわれたが、その後、道路特定財源制度が成立し、道路建設が順調に進められた。さらに、高速道路¹¹⁾の建設が進み、主要都市を結ぶ交通網も整備された。一方、1950年代後半から、海陸にわたり原料・燃料・工場施設を有機的・計画的に結集する石油化学コンビナートが、石油を運ぶタンカーが利用しやすい太平洋側や瀬戸内海の沿岸部を中心に作られた。こうした中、政府は産業と人口の大都市への集中を緩和して地域間格差を是正するために、1962年に国土利用の計画として（チ）計画を定めている。

1970年頃から自動車の排気ガスによる公害問題・環境問題がおこり、全国での道路整備がある程度進んだことや国家財政が厳しくなったことなどから、2009年に道路特定財源制度は廃止された。少子化などの問題を抱える日本にとって、鉄道や水道などととも道路というインフラをどのように維持していくのかは、今後の切実な問題である。

A. 文中の空所(イ)～(チ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～11)にそれぞれ対応する次の問1～11に答えよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 壱岐・対馬・筑紫に、緊急通信用の烽（烽火）と、任期 3 年で大宰府に属する兵士を置いた
 - b. 九州の政治拠点である大宰府を守るために、大野城や胆沢城、志波城などが築かれた
 - c. 百済の亡命貴族の指導で築かれた朝鮮式山城にならい、大津宮・藤原京・平城京などで、全体を囲む羅城の堅固な城壁が築かれた
 - d. 中大兄皇子は、白村江での敗戦後に内陸の飛鳥浄御原宮に遷都し、ここで天皇に即位した

2. これに関して、大宰権帥として九州の武士たちの指揮をとった貴族はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 藤原公任 b. 藤原伊周 c. 藤原実資 d. 藤原隆家
3. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 御家人には全国各地に所領を持つ者もあったが、自らは現地に赴かずに借上と呼ばれる金融業者を代官として年貢を受けとるのみの場合もあった
- b. 西国の御家人の多くは地頭に任じられることなく守護を通じて御家人として登録され、京都大番役などを務めた
- c. 北条氏と将軍の間に抗争がおこると、頼朝以来将軍が保護してきた仏教勢力の高僧が将軍方についたため、北条時頼は南宋出身の禅僧を招き建長寺を創建した
- d. 源頼朝が朝廷から与えられた平家没官領は約3000か所、承久の乱で上皇方の貴族や武士から幕府が没収し御家人に配分した所領は500か所余りであった
4. これに関して、息子の相続問題の訴訟をおこすために鎌倉に下向した女性歌人が書いたものはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 『十六夜日記』 b. 『海道記』 c. 『東関紀行』 d. 『明月記』
5. これに関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- i. 近江の馬借が蜂起し京都周辺の農民が合流して酒屋・土倉・寺院などを襲った正長の土一揆は、馬借らが情報を拡散したため大和・河内・播磨へも波及した
- ii. 蔵人所を本所とした灯炉供御人は朝廷の權威によって関銭を免除され、全国的な商売を展開した
- a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
- c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤
6. これに関して、応永の乱で大内義弘の拠点となり、その後イエズス会宣教師によって海外に紹介された商業都市は何か。その名をしるせ。
7. これが文禄・慶長の役で本営とした、肥前国に築いた城は何か。その名をしるせ。

8. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 江戸時代中期から、北前船や尾州廻船（内海船）などが各寄港地で売買をおこなう買積方式をとったため、大坂への物資の流入が増えた
 - b. 京都の豪商角倉了以は幕府の命によって高瀬川を開削して京と伏見の間の水運を開き、鴨川・富士川を整備した
 - c. 単一規格商品である酒樽を運んだ樽廻船は、それ以外も運ぶようになり、大型の帆船に多種類の荷を載せる菱垣廻船を次第に圧倒した
 - d. 淀川・利根川・信濃川、琵琶湖・霞ヶ浦などでは、高瀬舟や小舟を用いての輸送が発達した
9. これに関して、寄港する廻船への資金貸付や積み荷の保管や買取・委託販売を領主が行って莫大な利益をあげ、また海上交通の要衝として戦鬪や国際条約締結の舞台となった港湾都市は何か。その名をしるせ。
10. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 河野広中ら自由党員が、県令による強硬な道路工事の負担に苦しむ農民らを決起させた福島事件は、高田事件や群馬事件などの後におきた最大の激化事件となった
 - b. これの弱体化をはかる政府は、集会条例改正などで政党を牽制するとともに、三菱に資金提供させて自由党党首の板垣退助を洋行させ、運動の分断をはかった
 - c. 19世紀後半の世界的な大不況が輸出用生糸の生産に打撃を与えたため、秩父地方の豪農が没落し、これは変質した
 - d. 明治14年の政変で約束された国会開設が近づくと、これは再結集し、地租軽減・保安条例撤廃・外交の挽回を求める三大事件建白運動を展開した
11. 1965年に全通したこれは何か。その名を漢字 6 文字でしるせ。

Ⅱ. 次の文1～6を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 江戸幕府は、海外との人・モノ・情報の往来を「四つの口」に集約し、人びとが海外の情報に接する機会を厳しく統制する体制を作りだした。しかし、将軍（イ）が漢訳洋書の輸入制限をゆるめたことを契機として、日本における洋学としてまずは蘭学が始まった。洋学は、医学の分野で活況を見せ、さらに医学以外の分野でも盛んになった。伊能忠敬が師事した高橋至時は、西洋天文学を研究したことで知られている。幕府は、¹⁾1811年、天文方に（ロ）を設け、蘭書の翻訳をおこなわせた。他方で、幕府は、1830年代の蚕社の獄に見られるように、洋学者による幕政批判を許さず弾圧した。

²⁾

2. ペリーの来航は、幕政に大きな変化をもたらした。幕府は、欧米から招聘した外国人による教育や技術指導を進め、留学生の欧米への派遣も始めた。こうした方針は、明治政府にも引き継がれ、ペリーの来航から約20年ほどで、日本国内での電信の実用化や鉄道の敷設も実現していった。新橋・横浜間の鉄道建設には、イギリスの鉄道技術者であるモレルが招聘され、その指導にあたった。モレルは、日本における幹部技術者養成機関設置や、工業各分野を統轄する官庁新設を政府に提言した。1870年、明治政府は殖産興業政策の中核管理機関として（ハ）を開設した。（ハ）には教育機関も置かれ、外国人教師による高等な工業技術教育がおこなわれた。この教育機関は、（ハ）が廃止されると文部省直轄となり、翌年には帝国大学と合併してその工科大学となった。

3. 1886年の帝国大学令では、その第1条において、「国家ノ須要」に応じる学術技芸を教え、研究することが帝国大学の目的であると明確に規定された。帝国大学での教育や研究は、日本の工業化とも大きく結びついていくことになる。

19世紀末から20世紀初頭は、紡績業を始めとして日本における近代的な工場での生産が急速に発展した工業化の時代であるとともに、工場労働者の劣悪な労働状況の問題や、環境問題が顕在化した時代でもあった。1907年の東北帝国大学、1910年の九州帝国大学の創設にあたっては、古河家による多額の寄付がおこなわれた。これは、足尾銅山鉍毒事件をめぐって古河に対する強い非難の世論がおこるなか、第1次西園寺公望内閣の内務大臣であった原敬が、寄付による世論の緩和をはかるため古河家に働きかけておこなわれたものであった。

4. 第一次世界大戦が勃発すると、日本は（ニ）外務大臣の主導により日英同盟を理

由に参戦し、中華民国に対して二十一カ条の要求をつきつけ、中国での権益拡大をはかった。そしてヨーロッパ列強が戦争によりアジア市場から撤退している間の日本では、国内重化学工業の本格的発展がはじまった。政府の科学研究活動推進の動きも、第一次世界大戦中から大戦後にかけて積極化した。1917年には財界の寄付金、国庫補助、皇室下賜金による半官半民の（ホ）が設立され、のちに（ホ）は、多くの発明を基礎に多数の企業を経営するコンツェルンを形成した。1920年代、高等教育機関や研究機関の拡張が進み、1930年代には、産業・軍事と結びついた研究活動が国策推進を担うようになっていった。

5. 1924年に（ニ）を首班とする内閣が成立した。この内閣から約8年間、衆議院に多数の議席を占める政党の総裁が交代で内閣を組織していったが、1932年、犬養毅の暗殺により終わりを告げた。この間に満洲（州）事変がおこり、犬養毅の暗殺の約2ヶ月前、関東軍は、清朝最後の皇帝溥儀を執政として、「満洲国」の建国を宣言させていた。犬養毅内閣の後継となった斎藤実内閣は、「満洲国」を承認したが、国際連盟臨時総会は、リットン調査団の報告に基づき、「満洲国」を日本の傀儡国家であると認定し、日本が「満洲国」の承認を撤回することを求める勧告案を採択した。これをきっかけに、日本は国際連盟から脱退した。1937年7月、盧溝橋事件によって日中戦争が始まると、10月には陸軍の強い要求により、内閣直属で戦時動員の中枢機関となる（ヘ）が設立された。そして、1938年には国家総動員法が制定された。この国家総動員法によって、科学研究も生産力拡充計画の一環に位置づけられるようになった。日中戦争は、国民政府側の抗戦を呼び起こし全面戦争となっていった。日本は首都など主要な都市を攻略したが、戦争の終結には結びつかず、1941年12月以降、日本はアジア・太平洋戦争に突入した。この中で軍事動員は激増し、軍需産業が大拡張していった。

6. 第二次世界大戦後、（ト）会議が1949年に設立され、学界の近代化と学問の平和的利用を掲げる科学者の代表機関となった。しかし、1950年代半ばから政府が進めた科学技術振興政策によって、（ト）会議の役割は相対的に弱められることとなった。

1960年代半ば以降、電力会社は原子力の平和利用をとる政府の支援のもと各地で原子力発電所の建設を進めた。特に1970年代前半の石油危機を経て、原子力発電所建設は加速していった。原子力は大量のエネルギーを供給できるが、1990年代におきた2つの大きな事故、そして2011年、東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故などによって、原子力発電の安全性に対する信頼はゆらぐこととなった。

A. 文中の空所(イ)～(ト)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～11)にそれぞれ対応する次の問1～11に答えよ。

1. この人物らの測量をもとに作成された地図の名称を漢字9文字でしるせ。

2. これに関する次の文中の空所〈あ〉・〈い〉それぞれにあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。下記のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

1837年、アメリカ商船〈あ〉が、漂流民を護送して浦賀沖に接近し、日本に通交を求めようとしたのを、幕府は異国船打払令にもとづき撃退した。この事件に関して『慎機論』を書いて幕府の対外政策を批判した〈い〉は、幕府からきびしい処罰を受けた。

a. 〈あ〉：フェートン号 〈い〉：高野長英

b. 〈あ〉：フェートン号 〈い〉：渡辺崋山

c. 〈あ〉：モリソン号 〈い〉：高野長英

d. 〈あ〉：モリソン号 〈い〉：渡辺崋山

3. この間の朝鮮半島に関する出来事a～dのうち、もっとも古いものを解答欄のiに、次に古いものをiiに、以下同じようにivまで年代順にマークせよ。

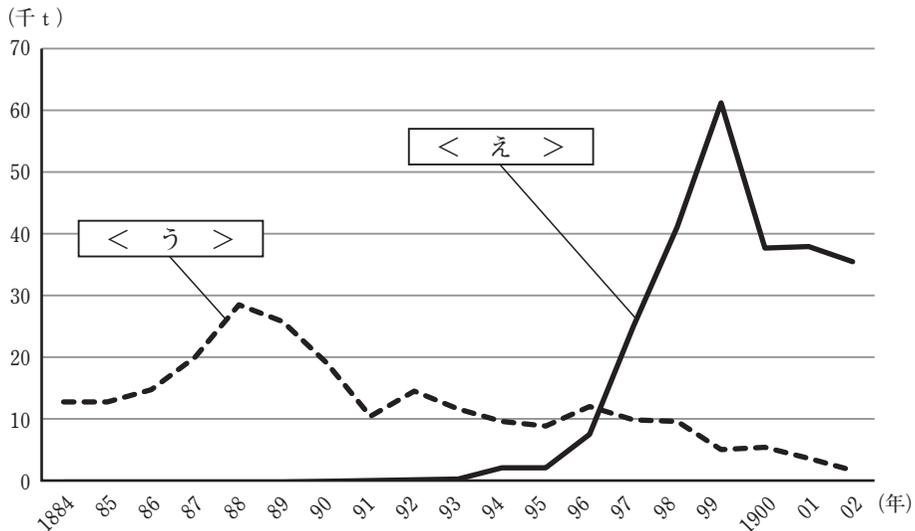
a. 甲午農民戦争がおこった

b. 大韓帝国皇帝がハーグ万国平和会議に密使を送った

c. 統監府が設置され、初代統監に伊藤博文が就任した

d. 日本公使館守備兵らによって閔妃が殺害された

4. これに関する次の図の空所〈う〉・〈え〉それぞれにあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。



(『近現代日本経済史要覧』増訂版より作成)

- a. 〈う〉：綿花輸出力 〈え〉：綿花輸入量
 b. 〈う〉：綿花輸出力 〈え〉：綿糸輸出力
 c. 〈う〉：綿糸輸入量 〈え〉：綿花輸入量
 d. 〈う〉：綿糸輸入量 〈え〉：綿糸輸出力
5. これに関して、第1回衆議院議員総選挙で当選した人物であり、議会で政府に銅山の操業停止を要求し、議員辞職して天皇に直訴した人物は誰か。その名をしるせ。
6. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. この要求に先立って、日本はアメリカとの間で石井・ランシング協定をむすんだ
 b. この要求の結果、山東省のドイツ権益を日本が継承することになったが、ワシントン会議の際に締結された条約の結果、日本は旧ドイツ権益を中国へ返還した
 c. 中国政府の顧問として日本人の雇用を求める第5号を除いて、日本は二十一カ条の要求の大部分を承認させた
 d. 日本は、旅順・大連租借期限と南満洲鉄道の権益期限をさらに99年ずつ延長することを要求した

7. この間の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- 関東軍が張作霖爆殺事件をおこした
 - 血盟団事件がおこった
 - 日ソ基本条約を締結してソ連との国交を樹立した
 - ロンドン海軍軍備制限条約（ロンドン海軍軍縮条約）に調印した
8. この臨時総会に日本首席全権として参加し、勧告案を可決した総会の場合から退場した人物は誰か。その名をしるせ。
9. これによっておきた変化について説明せよ。説明においては、以下の2つの語句を用い、「これにより政府は、」に続けて50字以内（「これにより政府は、」も含む）でしるすこと。

議会 動員

10. これに関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- 近衛文麿首相が「東亜新秩序」建設を声明した後、日本軍は南京を占領したが国民政府軍の徹底抗戦が続き、近衛首相は「国民政府を対手とせず」とする声明を出した
 - 1940年、日本は各地の傀儡政権を統合して、汪兆銘（精衛）を首班とする新国民政府を重慶に樹立した
- i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
 - i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤
11. これに関する次の出来事 i～iii について、もっとも古いものから年代順に並んでいる組み合わせはどれか。下記の a～f から1つ選び、その記号をマークせよ。
- 小淵恵三内閣の時、国旗・国歌法が制定された
 - 橋本龍太郎内閣の時、消費税率が5%に引き上げられた
 - 宮沢喜一内閣の時、国連平和維持活動協力法（PKO協力法）が成立した
- i → ii → iii b. i → iii → ii c. ii → i → iii
 - ii → iii → i e. iii → i → ii f. iii → ii → i

【以下余白】